年表 1998年～1999年

1998年（平成10年）

▼3月
新クラブ名を「大宮アルディージャ」に決定する。
後援会設立目的として「大宮アルディージャを支援する会（代表松沢喜久夫）」（以下「支援する会」）発足。

▼4月
「支援する会」が後援会への入会募集を開始する。

▼6月
第16回ＦＩＦＡワールドカップ・フランス大会　優勝はフランス
日本代表は３戦全敗でグループリーグ敗退

▼6月8日
ジョセフ・ブラッター（スイス）が第8代ＦＩＦＡ会長に就任。

▼7月
ピム・ファーベーク監督就任。

▼8月
「支援する会」において、後援会設立日を11月12日とすることを決定する。

▼9月
フィリップ・トルシエ（フランス）日本代表監督に就任

▼10月19日
Ｊリーグ関係者が、埼玉県立大宮公園サッカー場の諸設備を視察する。

▼11月12日
アルディージャ後援会設立総会（会場・大宮サンパレス）

▼12月1日
Ｊリーグ川淵チェアマンより埼玉県立大宮公園サッカー場の改善すべき事項が、土屋県知事およびアルディージャ中田オーナーに示される。

▼12月4日
ＮＴＴスポーツコミュニティ株式会社が設立される。

1999年（平成11年）

▼1月29日
アルディージャ後援会第1回運営委員会が開催される。

▼3月
Ｊリーグは、ディビジョン1（Ｊ1）16チームとディビジョン2（Ｊ2）10チームによる2部制に移行する。
☆大宮アルディージャがＪ2に参入する。

▼3月14日
Ｊ2リーグ第1節対戦相手・ヴァンフォーレ甲府　2対1
競技場・韮崎中央公園陸上競技場　観客数2，027名
第1回バスツアー　参加者20名

▼3月21日
Ｊ2リーグ第2節対戦相手・コンサドーレ札幌　1対2
競技場・大宮公園サッカー場
観客数5，069名

▼6月9日
大宮市議会、鹿島アントラーズ関連施設視察。

▼8月5日
後援会会報誌「アルディージャドリーム」を発刊する。

▼11月
ジュビロ磐田がアジア・スーパーカップで優勝し、第2回クラブ選手権の出場権を得るが、同大会は中止。

▼12月
第17回ＦＩＦＡワールドカップ予選抽選会を東京で開催

当時を語る Vo.4

元大宮アルディージャ強化部長　佐久間　悟 氏

今、私の手元には、1998年3月末日と記された「大宮アルディージャ、プロチーム及び育成部門における強化指針」があります。これは、Ｊ2参加が決定していた1998年にＮＴＴ埼玉支店内に発足した「プロサッカーＰＴ」の企画書であり、私が1996年7月にオランダ留学をした際に学んできたことを集約したものでした。ここには、①クラブのコンセプト②サッカースタイル③Ｊ1昇格へのシナリオ等を多岐にわたりまとめたもので、「あれから13年の歳月が経過したのかと思うと改めて「時の流れの早さ」を感じます。ＮＴＴの一平社員であった私が大宮アルディージャのクラブ創設期に基盤づくりを担当に幸運なことは本人自身は、強い使命感のもと家庭やサラリーマン人生を顧みず、ひたすら奔走した日々を過ごしていました。実際、クラブの誕生には、多くの方々のご協力とご支援により実現を果たせましたが、私自身もクラブ創設以降、本当に充実した大宮ライフを過ごすことができました。当時、私に課せられた最大の任務は、大宮アルディージャの監督を選定することでした。そこで、私が一番候補としたのは、元日本代表の監督であり、1998年は、加茂ジャパンのヘッドコーチであった岡田武史氏でした。しかし、残念ながら願いは叶うことなく、最終的には、オランダ人のピム・ファーベーク氏を監督として招聘しました。結局、現在の大宮には、未だピム氏が残していてくれたＤＮＡが多く残っていて、Ｊリーグの中でも数少ない「自分達の色」があるクラブとして、今なお進化しているのではないでしょうか。私は、現在、山梨県にある小さなクラブであるヴァンフォーレ甲府という「Ｊリーグを代表する地域密着型」のクラブで働いていますが、大宮アルディージャ同様、自らの価値観をしっかりと確立しています。大宮と甲府では、経済規模も人口も文化も異なりますが、今後も同じサッカー界の仲間として、サッカー文化の発展に寄与することができればと願っています。

※平成23年7月現在

フリーアナウンサー　大野　勢太郎 氏

浦和レッズが誕生して間もない頃、当時の新藤享弘大宮市長と話す機会があった。そのときの新藤さんの言葉が忘れられない。「本当は浦和じゃなくて大宮だったんです」と。それは悔しそうな表情だった。Ｊリーグが華やかに開幕し、浦和レッズが注目されている時期だった。実は新藤市長を先頭に、大宮も誘致活動に乗り出していたのだ。手応えはあった。県内でサッカーに力を入れている社会人チームがあったからだ。それはアルディージャの前身のＮＴＴ関東ではない。新藤さんは熱心に誘った。だが、そのクラブはＪリーグ参加を見送った。これが、新藤さんの冒頭の無念の言葉なのだ。さらに、「サッカーは浦和だと言うけれど、大宮出身の少年たちが支えたんだ」とも続けた。大宮と浦和の激しいライバル心が伺える。そして大宮はＪリーグから取り残されるように沈んだ。

だが街の有志たちは決して諦めていなかった。昔から地元に根を生やすＮＴＴ関東を熱心に口説くのだが、公益企業の色が濃いため、なかなか色よい反応が貰えなかった。しかし、当時のＮＴＴ関東サッカー部の中村オーナーは、その熱意を正面から受け止め、ゴーサインを出すのだ。この中村氏の存在なくして、大宮アルディージャは無いと言っても過言でない。中村氏はＮＴＴ関東サッカー部を心から愛していた。人格者であり、本社にも影響力があった。中村氏は「大宮は社員選手も加えてスタートします」と、岡本、山岸、斉藤雅人など中心選手はみなそうだった。中村氏はＮＴＴ関東のカラーを失いたくなかったのだろう。クラブの愛称を決めるのも侃々諤々だった。大宮ムサシなんて名も真面目に上がったぐらい盛り上った。いつも思うのだが、立ち上げの熱は半端ではない。それを次の世代がどう受け継ぐ行くのか。これからが本当の勝負だと思う。

いくら政令市になっても、大宮ＶＳ浦和の対抗意識は残っている。新藤さんの無念を晴らすためには「強く」なくてはならない。そうなればダービーはさらに盛り上がる。ＮＡＣＫ5スタジアム大宮も満杯になる。

NTT関東サッカー部OB会　金岡　正輝 氏　暮石　勝己 氏

「大宮アルディージャ」の母体である、ＮＴＴ関東サッカー部ＯＢ会は、当然ですがサッカーをこよなく愛する仲間の集まりです。ところが、Ｊ1発足当時、サッカー部のプロ化は会社にとってメリットなしと判断され、当時のプレーヤー皆が挙げた手は行き場を失いました。

大変残念で悔しい思いの中、ＯＢ会として社内、報道関係、サッカー協会等の対応について十分ではなかったとの反省点を生かし、行政への働きかけも含め、役割分担を決めプロ化（Ｊリーグ参入）に向けて動き出しました。

「大宮にＪリーグを呼ぼう会」の誘致活動という大きな力を得て、6年後にＪ2参入を果たすことができ、万感の思いで迎えたことを思い出します。

「支援する会」が「後援会」となり大宮市民を巻き込んだ組織が出来上がった当初は、ＯＢ会全員が後援会員になれば、より大きな強固な組織になるのではという思いはありましたが、ＯＢ会員も若手ＯＢチーム（40歳以下）、シニアチーム（40歳以上）及び少年団チームや大学のコーチ、監督等々本来サッカーへの拘りがあるメンバーの集まりですから、決して一枚岩になっていませんでした。ただ最終目標であるＪ2からＪ1昇格を見据え、「俺たちのチーム」から「市民のチーム」へと変貌したチームに我々は何が出来るかを考えた時、立ち上がったばかりの後援会活動に参加し努力するため、運営委員会に2名（故小川氏と暮石氏）が参加しました。

「大宮アルディージャ」が我々の目標であるＪ1昇格を果たして以降、後援会活動からは離れましたが、応援する気持ちを具体的な行動（年間シートを購入してスタジアムに足を運ぶ等）で表さなければいけないと思っています。後援会も、より地域に密着した、クラブ・チームに伝わる活動を、長いスパンで地道に行ってください。

今後ＯＢ会では、現在活動している仲間同士（当面埼玉・東京）のネットワークを作り、活動の輪を広げ「大宮アルディージャ」の支援活動に繋がるような組織づくりを考えています。

「大宮アルディージャ」は〝毎年落ちそうで落ちない〟危機を何とか回避していますが、現在のチームに対しては、上位チームにはそれなりに、下位チームにもそれなりに（ＮＴＴ関東のＤＮＡを引き継いでいるよう？）戦っているような局面に至っても「なでしこ力」のようにあきらめないで戦ってほしいと思います。選手一人ひとりが自信を持って潜在的な力を十分に発揮し優勝を目指してほしいと思います。そして常に大宮市民の「憧れの的」であってもらいたいと思っています。

【参考】
金岡正輝氏…第2代・4代監督
小川永臣氏（故人）…第3代監督
暮石勝巳氏…第5代監督

支援する会

「支援する会」とは？
「大宮アルディージャを支援する会」の略称。1998年（平成10年）3月、大宮青年会議所、大宮商工会議所青年部、大宮市サッカー協会、ＮＴＴ関東サッカー部ＯＢ会が中心となり、後援会設立を目的として発足。他のＪリーグ後援会規約を参考にし、「アルディージャ後援会」の基本となる理念とその規約作成等を行った。前年12月に設立された「大宮市ホームタウン推進協議会」やクラブ主導のファンクラブとの違い、位置づけに苦労はあったものの、翌月の4月から後援会への入会募集を開始するに至った。

アルディージャ後援会理事長　染谷　伊久夫 氏

皆様には、アルディージャ後援会にご支援・ご協力を頂き、感謝申し上げます。

私が後援会に関わるようになったのは、1998年3月に発足した「大宮アルディージャを支援する会」からです。後援会が立ち上がると運営委員長に、その後3代目運営委員長、現在は4代目理事長を勤めさせていただいております。当時を振り返ると後援会活動初期は「試合観客も3000人にも満たなく、後援会活動も3～4人で行っておりました。花見頃の試合は、試合開始前に大宮公園に集まる人々に観戦お願いを行い、酔っ払いに冷やかされたりもしました。

また、初期のファン感謝デーは、大宮小学校などの学校と交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

それから、各商店街を回って、協力のお願いを行い、クラブとの交渉し学校の校庭で開催。しかし、人が集まらず、呼び込みなども行いました。

また、ホームゲームの手伝いとしては、初年度は、後援会ブースでは、グッズ販売テントと並んでゴール裏スタンドにあり、後援会会員募集活動をはじめ、グッズ販売の手伝いその他案内業務等をしていました。勿論ブースがスタンド内にあった為、試合観戦しながらの楽しい一勝でいればー）後援会活動でした。アウェイ観戦に至っては私達後援会運営委員とチームスタッフとで協力し合い、添乗員さながらの活動により、大宮発で南は大分、北は札幌へと勝利を願って移動し観戦を実施した思い出があります。また、子ども達の為の活動の一部としては、当時の大宮市の教育長でした石川正夫先生の理解もあり、選手・コーチスタッフが学校行事に出向き直接子ども達とサッカーで楽しんだり、それとは別に授業の一環としての普及部コーチの皆様による国際色豊かな世界観のあるサッカー講習会を行って頂いたりで、その時の子ども達の目の輝きは、今でも忘れられません。また、選手ファン感謝デーも地元小中学校で開催され、チームの地域に対する姿勢が伺われた気がして、手伝っていても嬉しく思いました。番外編では、ヴァンフォーレ甲府に試合前の練習の場として大宮北小学校の校庭を提供し、その様子を学校中で見学したり、終了後に会話したりで珍しい時間を過ごせた気がしました。また、2003年でしたか？当時アルディージャとフェイエノールトとの業務提携によりフェイエノールト監督のルート・フリット氏（元オランダ代表選手・元ＡＣミラン選手等）を大宮小学校に招き、子ども達とボールを蹴ったり、話をしたりして交流をもったことも、自分自身貴重な体験の中での手伝い支援が出来、有名選手を目前にした感動の時間でした。後で聞いた話ですが、フリット氏から地元の子ども達と交流したいとの申し出があり、実現したとのことでした。以上後援会当初の話を簡単にさせていただきましたが、私達のこの街にプロサッカーチーム大宮アルディージャが来た実感を自分達でもっと持ち、今後の地域の宝とし教育の場とし、まちづくりの一環として大切にし応援していきたいと思います。

アルディージャ後援会副理事長　辻　益行 氏

「子ども達に夢を」「地域に活力を」1998年大宮アルディージャ後援会設立総会を迎えるにあたっての自分自身が思い願ったことでした。勿論その頃は、地元大宮アルディージャを理解している人はそう多くはいませんでしたし、後援会もその活動第一歩でした。あの頃、国内でプロスポーツを持つ都市が幾つあるか考えれば、この大宮アルディージャを招致することに尽力を頂いた地元市政・サッカー協会・地域・サッカーファン等の方々に一後援会会員として改めて感謝したものです。同時に、私たち後援会会員によるチーム・選手への支援・応援活動、またそれを支える為の地域の皆様の後援会に対するご協力を頂く活動も始まった気がしました。当初後援会活動は後援会会員の拡大、ホームゲームの手伝い、アウェイゲームへの観戦ツアーの実施が主な活動内容でした。特に会員拡大に関しては、チームスタッフと伴に商店・企業を中心にチームの現状、今後のあり方を説明しつつ、徐々に会員を増やして、更に試合会場の大宮公園サッカー場に一人でも多くの人達に観戦に来て頂くような活動をしていました。

また、ホームゲームの手伝いとしては、初年度は、後援会ブースでは、グッズ販売テントと並んでゴール裏スタンドにあり、後援会会員募集活動をはじめ、グッズ販売の手伝いその他案内業務等をしていました。勿論ブースがスタンド内にあった為、試合観戦しながらの楽しい一勝でいればー）後援会活動でした。アウェイ観戦に至っては私達後援会運営委員とチームスタッフとで協力し合い、添乗員さながらの活動により、大宮発で南は大分、北は札幌へと勝利を願って移動し観戦を実施した思い出があります。また、子ども達の為の活動の一部としては、当時の大宮市の教育長でした石川正夫先生の理解もあり、選手・コーチスタッフが学校行事に出向き直接子ども達とサッカーで楽しんだり、それとは別に授業の一環としての普及部コーチの皆様による国際色豊かな世界観のあるサッカー講習会を行って頂いたりで、その時の子ども達の目の輝きは、今でも忘れられません。また、選手ファン感謝デーも地元小中学校で開催され、チームの地域に対する姿勢が伺われた気がして、手伝っていても嬉しく思いました。番外編では、ヴァンフォーレ甲府に試合前の練習の場として大宮北小学校の校庭を提供し、その様子を学校中で見学したり、終了後に会話したりで珍しい時間を過ごせた気がしました。また、2003年でしたか？当時アルディージャとフェイエノールトとの業務提携によりフェイエノールト監督のルート・フリット氏（元ＡＣミラン選手等）を大宮小学校に招き、子ども達とボールを蹴ったり、話をしたりして交流をもったことも、自分自身貴重な体験の中での手伝い支援が出来、有名選手を目前にした感動の時間でした。後で聞いた話ですが、フリット氏から地元の子ども達と交流したいとの申し出があり、実現したとのことでした。以上後援会当初の話を簡単にさせていただきましたが、私達のこの街にプロサッカーチーム大宮アルディージャが来た実感を自分達でもっと持ち、今後の地域の宝とし教育の場とし、まちづくりの一環として大切にし応援していきたいと思います。

今大事なことは、クラブ理念である「より良い地域社会の実現にいかに貢献できるか」です。

そのために、後援会は何を考え、どのように活動するか大事な時です。

さらなる皆様のご支援・ご協力とご意見を頂けたら幸いです。

今後もよろしくお願い申し上げます。

LAFORET SHIMIZUEN
ご婚礼ご宴会に
大宮ラフォーレ 清水園
埼玉県さいたま市大宮区東町2-204
大宮氷川大社参道
TEL.048-643-1234　FAX.048-645-4321
http://www.shimizuen.co.jp/

地域の環境作りに貢献しています
ビル総合システム管理
株式会社
エヌテックサービス
〒331-0821 さいたま市北区別所町３８番地２
電話　048-662-3300

DO AMENITY
厚生労働省認定　社内検定
「トイレ診断士」派遣します!!
㈲アメニティリース
TEL048-664-0489
FAX048-664-0494
http://www.amenity-network.net/

毎日興業株式会社は、
大宮アルディージャを
応援しています
ビル管理からプロパティマネジメントまで
mainichi 毎日興業株式会社
埼玉県さいたま市大宮区浅間町2-244-1
TEL 048(642)1238
E-mail：shuwa@mainichikogyo.co.jp

大宮アルディージャを
応援します！
㈱渡辺塗装工業
さいたま市大宮区天沼町1-452
TEL048-648-4111
http://www.watanabe-tosou.co.jp

埼玉の人材派遣会社
ART STAFF CENTER ASC アートスタッフセンター
お仕事情報　掲載中
TEL048-687-7630